

# 同志社大学の傾向と対策

## ★出題パフォーマンス(種類・形式・分野)★

- ① 全学部統一が1日間(2/5)、学部個別が5日間の6種類の問題がある \* 流行する単元あり(3~4テーマ)
- ② 75分=大問3問で地域や時代はバランスが良く偏りなし、西洋:東洋=2:1か1:2
- ③ 受験日によって選択や正誤の形式に傾向あり ... 2/5の正誤がやや難問となりました!
- ④ 空所補充 ... 大量語群からの用語選択と一問一答 ... とりあえず、語群を見ずに空所を埋めるべし!
- ⑤ 年代当て ... 有名事件&年代並べ替え \* 近年、減少傾向にある
- ⑥ 正誤問題 ... 2~3文正誤(1~2行程度:やや難)・間違え用語探し・四択もあり(概念的なものが難問)
- ⑦ 文化史は、部分的な出題も多いが、同年に2つだけ文化史だけの大問で出る
- ⑧ 戦後史は、過去の他学部に出題された内容がほとんど ... スライド式 \* 戦後史だけの大問は年に1~2学部  
\* 文化史と戦後史はどちらが怖い? 間違いなく《文化史》だろう! 平均15%が文化史なので注意...

## ★傾向から読む絶対対策★

- ① 同一学部・日程で同じ単元や分野やテーマの出題なし。ただ、2~3年おきに類似したテーマや分野はある!  
→ 志望学部の過去問を死ぬほどやるのは愚策、ただ、形式や出題方法・出題地域に目を通すことは必要
- ② 志望学部の過去問4年分の研究 → 出題されている地域・国の違う時代・単元が出題されやすい
- ③ スライド出題 ... 過去4年分の他学部の問題と類似したものが出題される傾向がある  
→ よって、他学部の問題4年分をチェックし、志望学部はまだ出題されていない分野・単元を解くべし
- ④ 空所選択補充50%・一問一答記述 or 年代10%・文章正誤問題40%(四択と正誤組み合わせ)  
→ よって、空所補充の一問一答は絶対、私立基礎レベルの正誤問題の学習徹底  
\* 歴史用語の概念的な正誤や社会経済の正誤は難問、正直落としても合否に関わらないので焦らない
- ⑤ 本年度に狙われやすい国や地域(流行)が2/5・2/6・2/7の試験で見える → 本年度入試問題の入手絶対!
- ⑥ 中国史は、同年・同一学部とも同じ単元はあまり出題されないので絞ることができる
- ⑦ 全体的に出題されやすい単元や地域・テーマが偏っているので当てやすい! 6か年データから頻出単元をチェック

## ★ここを狙え! 同志社はここが好き★ 初日2/5に出題されたのは青字で!

### 東洋史はここ

- ① インド史全時代
- ② 朝鮮半島史(~朝鮮戦争)
- ③ イラン史(~WW I)
- ④ トルコ史 & エジプト史 & パルステイナ史(セルジューク朝~戦間期のアジア・アフリカの民族運動)
- ⑤ 植民地化される南アジアと東南アジア~戦後の独立運動と独立戦争 \* ベトナムが多い
- ⑥ イスラームの成立~領土拡大・地域的大分裂の王朝史
- ⑦ 北方遊牧民族史
- ⑧ アフリカ史(西サハラ・スワヒリ語~アフリカ分割・独立)

### 西洋史はここ

- ① ギリシア・ローマ史(政治&文化)
- ② ローマ=カトリックの盛衰とルネサンスと宗教改革
- ③ 西欧&東欧絶対王政
- ④ 革命史(英・米・仏・露)
- ⑤ 19世紀の欧米諸国の動向
- ⑥ 産業革命からの社会主義運動と政党
- ⑦ 大航海時代と植民活動と東西交流史(ヒトとモノの移動)